

水兵

これは何處の港でもありません。これは何處の國の水兵でもありません。
何處の景色でもありません。たゞ水兵です。頬杖をついて眼を細くして居る
若い水兵です。私は頬杖をして居る所を彫つてみたくなつたのでこんな構圖が
出来きました。三角刀少々、あとは駒透き二三本、それから間透きです。

(『HANGA』第13輯/1928(昭和3)年3月31日)